

山口県立山口博物館

山口県立山口博物館は、山口県・山口市の官庁施設や中心的な文化施設の集まるパークロード沿いに位置しています。入館者は年間約3万2千人にもなっており、まさに県を代表する施設といえます。

山口博物館では、久しく考古資料の展示が行われていっていませんでしたが、昨年秋に考古学専門の幸泉満夫学芸員が加入し、今年4月から歴史展示室で考古資料の展示も行われるようになりました。展示室には、県内では珍しい縄文土器を中心に、各時代の土器がわかりやすく展示されています。幸泉学芸員に考古資料の展示について色々とお話をうかがいました。

(質問) 考古資料の展示で一番気をつかうことは何ですか？

幸泉「やはり、資料に傷をつけないように気をつけます。また、細心の注意を払った展示を行うことで、観覧者の方々にも文化財の大切さが理解していただけるものと考えています。」

(質問) 観覧者からは考古資料の展示についてどのような感想が聞かれますか？

幸泉「展示スペースが少ない、などの声が聞かれます。私としましては、通史的に考古資料の展示が行いたいのですが…」

現在幸泉学芸員は「遺跡から出土するフグの骨」について研究中だそうです。この研究により、日本人が何時からフグを食べ始めたのかが解明されるかもしれませんね！

山口博物館では9月27日(火)から10月23日(日)にかけて、『古墳時代の山口』というテーマ展が開催されます。また、10月16日(日)には県民を対象とした考古学講座「山口県考古学入門」が開催されます。興味のある方は、是非見学・参加してみましよう！
(横山成己)



山口県立山口博物館 考古・歴史展示室



考古担当の幸泉学芸員

お問い合わせ先
山口県立山口博物館
〒753-0073 山口市春日町 8-2
Tel.083-922-0294

2005年春 埋蔵文化財資料館の活動



平川小学校での授業の様子

- 4・5月 5/16(月) 山口市立平川小学校 6先生を対象に「考古学と平川地区の遺跡」という内容で出張授業を開催。
- 17(火) 山口県博物館協会総会に出席・加盟挨拶。
- 18(水)
 - ↳ 教育学部附属光小学校(御手洗遺跡)で発掘調査を実施。数多くの遺物出土。
- 31(火)

- 6・7月 6/1(水) 教育学部附属養護学校による展示見学。
- 11(土) 山口大学山岳部OBによる展示見学。
- 27(月)
 - ↳ 吉田構内(吉田遺跡)で発掘調査を実施。
- 29(金)



吉田遺跡の発掘調査風景